



TIS

TIS INTEC Group

Go Beyond

T I S 株式会社

第 1 2 期 定時株主総会

2 0 2 0 年 6 月 2 4 日 (水曜日)



目的事項（報告事項・決議事項）

報告事項

1. 第12期（2019年4月1日から
2020年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに
会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第12期（2019年4月1日から
2020年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 取締役9名選任の件
- 第4号議案 監査役5名選任の件

質 疑 応 答

議案の採決

議事進行に関して

**新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、
議事進行に関して、以下の点のご理解をお願い致します。**

■ 報告事項、決議事項のご説明の割愛について

招集ご通知の記載事項やインターネットによる開示事項につきましては、
ご説明を割愛させていただきます

■ 株主様からのご発言・ご質問について

報告事項および決議事項のご説明後に一括してお受けするとともに、
お一人様につき、1問とさせていただきますようお願いいたします。

議決権を有する株主数

株 主 数 9,464名

総株主の議決権数

議 決 権 数 838,906個

1. 事業報告等の監査結果

事業報告およびその附属明細書	→ 適法
取締役の職務の執行	→ 適法
内部統制システムに関する内容等	→ 相当

2. 計算書類およびその附属明細書の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

3. 連結計算書類の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

1. 第12期 事業報告

- 事業の経過およびその成果
- 対処すべき課題

2. 第12期 連結計算書類

3. 第12期 計算書類



TIS

TIS INTEC Group

Go Beyond

第12期 定時株主総会 事業報告（事業の経過およびその成果）

TIS株式会社



当社グループを取り巻く環境

我が国経済

- 第3四半期まで緩やかな回復基調。
- 第4四半期になり急速に悪化し始め、先行き不透明な状況。



情報サービス産業

- ソフトウェア投資計画が前年度比増加を示すなど好調に推移。
- 期末にかけて、一部企業で業況悪化に伴うソフトウェア投資抑制の動き。



事業の経過および成果

「招集ご通知」
25頁

業績 2020年3月期 (当連結会計年度)

前期比増収増益。過去最高業績を達成。

		前期 2019年3月期	第12期 2020年3月期	前期比
売上高	↗	4207億69百万円	4437億17百万円	+5.5%
営業利益	↗	380億43百万円	448億39百万円	+17.9%
営業利益率	↗	9.0%	10.1%	+1.1P
経常利益	↗	386億03百万円	460億70百万円	+19.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	↗	260億34百万円	294億11百万円	+13.0%
ROE	↗	11.5%	12.5%	+1.0P

業績 2020年3月期（当連結会計年度）

特別利益 106億96百万円

- 投資有価証券売却益(54億45百万円)
- 有形固定資産売却益(31億78百万円)

特別損失 121億28百万円

- 次世代オフィス計画による費用および減損損失(41億12百万円)
- Sequent Software Inc.の株式取得によるのれんに係る減損損失(22億54百万円)

事業の経過および成果

「招集ご通知」
26-28頁

セグメント別の状況 2020年3月期 (当連結会計年度)

	前期(2019年3月期)	第12期(2020年3月期)	前期比	
サービスIT	売上高	1176億17百万円	1255億18百万円	+79億00百万円 (+6.7%)
	営業利益	85億19百万円	81億98百万円	▲3億20百万円 (▲3.8%)
	営業利益率	7.2%	6.5%	▲0.7P -
BPO	売上高	362億31百万円	336億99百万円	▲25億31百万円 (▲7.0%)
	営業利益	18億43百万円	26億22百万円	+7億78百万円 (+42.2%)
	営業利益率	5.1%	7.8%	+2.7P -
金融IT	売上高	1064億36百万円	114,472百万円	+80億36百万円 (+7.6%)
	営業利益	127億97百万円	14,936百万円	+21億38百万円 (+16.7%)
	営業利益率	12.0%	13.0%	+1.0P -
産業IT	売上高	1895億95百万円	202,701百万円	+131億06百万円 (+6.9%)
	営業利益	147億77百万円	19,159百万円	+43億81百万円 (+29.7%)
	営業利益率	7.8%	9.5%	+1.7P -

中期経営計画（2018年度～2020年度）

中期経営計画の5つの基本方針

持続的な利益成長

社員の自己実現重視

コア事業への集中

先行投資型への転換

グローバル事業の拡大

スピード感のある構造転換と企業価値向上の実現を目指す

2020年3月期 グループ経営方針

2020年3月期 グループ経営方針

- ①事業拡大・構造転換のための積極的な先行投資
- ②収益性向上のための施策推進・事業ポートフォリオの見直し
- ③ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した成長戦略の推進
- ④働きがい向上と人材マネジメントの高度化
- ⑤グループ経営の高度化・効率化の実現

グループ経営方針に基づき、各種施策に精力的に取り組む

2020年3月期 グループ経営方針

中期経営計画で定めた4つの重要な経営指標の全てについて、
最終年度（2021年3月期）の目標を1年前倒しで達成。

■ 重要な経営指標（2021年3月期）

戦略ドメイン比率

50% → **50%**

2021年3月期当初計画

2020年3月期実績

営業利益

430億円 → **448** 億円

2021年3月期当初計画

2020年3月期実績

営業利益率

10% → **10.1%**

2021年3月期当初計画

2020年3月期実績

ROE

12% → **12.5%**

2021年3月期当初計画

2020年3月期実績

2020年3月期 グループ経営方針

①事業拡大・構造転換のための積極的な先行投資

成長エンジンと位置付けるサービス型ビジネスの拡大に向け、重点的な投資を行う。
特に決済分野では、「PAYCIERGE」のもと、サービス型ビジネスの事業拡大推進。

決済分野

- ・クレジットプロセッシングサービスの提供に向けて準備を推進。
- ・デジタルウォレットサービスを推進。
「TOYOTA Wallet」、「MUFG Wallet」へ提供し、事業展開を加速。
- ・重要技術であるトークナイゼーション技術をもつ、米国Sequent社を連結子会社化。



便利ひろがる新しい社会、その先へ

その他

- ・米国ベンチャーファンドへ出資する等、スタートアップ企業との連携加速。
- ・八重山諸島における地域観光型MaaSをはじめ、実証実験を着実に推進、更なる展開を計画。

2020年3月期 グループ経営方針

②収益性向上のための施策推進・事業ポートフォリオの見直し

不採算案件撲滅やエンハンスメント領域の革新活動推進し、収益性向上。
クラウドおよびセキュリティ領域の業務提携・最適化・競争力強化。

不採算案件撲滅やエンハンスメント領域の革新活動を推進

・結果として、プラットフォーム事業の当期の売上総利益率は23.9%（前期比+1.4P）

クラウドおよびセキュリティ領域の業務提携・最適化・競争力強化

- ・株式会社ラックと業務提携を行い、「クラウド&セキュリティサービスプラットフォーム」の提供推進。
- ・グループの各種プラットフォームサービスを「アインス ウェーブ」へ統合し、最適化を進める。
この一環として、EDI事業を子会社のインテックへ集約。

千代田化工建設グループの戦略パートナーシップ構築

- ・千代田システムテクノロジーズのIT事業の承継会社を、2020年10月に連結子会社化予定。

2020年3月期 グループ経営方針

③ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した成長戦略の推進

「ASEANトップクラスのIT企業連合体」の組成を目指し、決済・銀行・ERPを重点事業領域と定め、チャネルとテクノロジーの観点から有力企業との資本・業務提携等を通じた積極的な事業領域拡大推進

連結子会社化

MFEC Public Company Limited
タイ/エンタープライズ向けITソリューション提供のリーディングプレイヤー

資本・業務提携契約

SQREEM Technologies PTE.LTD.
シンガポール/世界最大規模の行動パターン・データ・アグリゲーター

連結子会社化

Sequent Software Inc.
米国/エンタープライズ向けITソリューション提供のリーディングプレイヤー

持分法適用会社化

上海訊聯数据服务有限公司(CardInfoLink)
中国/コード決済ソリューション

2020年3月期 グループ経営方針

③ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した成長戦略の推進

Grab社との戦略的パートナーシップを目指すために、1.5億ドルを出資。
グローバル市場に向けた最適な決済ソリューションの展開へ、更に前進。

ASEAN トップクラスの
スーパーアプリケーション提供



顧客・パートナー基盤、ビジネスチャンス



ITサービス、ITノウハウ、顧客基盤(日・ASEAN)

ASEANトップクラスの
IT企業連合体の組成を目指す



- ・東南アジアにおける金融・決済領域の協業拡大
- ・東南アジア・日本でのデジタルペイメントの安全なインフラ強化
- ・新たな決済技術の開発を共同推進

2020年3月期 グループ経営方針

④働きがい向上と人材マネジメントの高度化

「働きがいの高い会社」を目指し、「働き方改革」「健康経営」の各種施策を推進。

社員の健康に配慮し多様な働き方を可能にする環境づくりを推進

- ・「テレワーカー」「勤務間インターバル制度」「スマートワーク手当」等の人事制度開始。

「プラチナくるみん」に認定（仕事と子育ての両立支援の制度）

- ・仕事と子育ての両立支援の制度の取り組みが評価され、「プラチナくるみん」認定を取得。



70歳までの「再雇用制度」を導入

- ・若手・ベテランに関わらず、意欲のある社員にとって働きがいの高い会社を目指す。

「健康経営優良法人2020 ホワイト500」に認定

- ・健康経営を推進し、グループで働く社員が生き生きと働ける会社を目指す。



2020年3月期 グループ経営方針

⑤グループ経営の高度化・効率化の実現

グループ基本理念「OUR PHILOSOPHY」の浸透推進

- ・グループの全役職員への浸透に向けて研修を精力的に実施。

コーポレートサステナビリティに関する取組みをより一層強化

- ・「環境方針」「持続可能な調達方針」「ダイバーシティ＆インクルージョン方針」を制定。

グループ経営管理の高度化・効率化の推進

- ・新グループ基幹システムおよびグループシェアードサービスは、予定通り2020年4月から始動。

ブランド活動の推進

- ・早期認知度獲得のため、集中投資を実施し、東名阪エリアでテレビCMをオンエア。

グループのオフィス移転・集約推進（東京地区）

- ・当社とインテックの事業機能は豊洲オフィスへ、両社の本社機能は西新宿オフィスへ拠点集約。

設備投資

- 設備投資総額 167億02百万円
- 経常的な設備の更新のための増設、改修等を目的とした投資
- サービス型ビジネス推進のためのソフトウェア投資 等

資金調達

- 長期借入金35億00百万円を借り入れ、71億85百万円を返済
(当社グループ全体)



<本資料の取り扱いに関して>

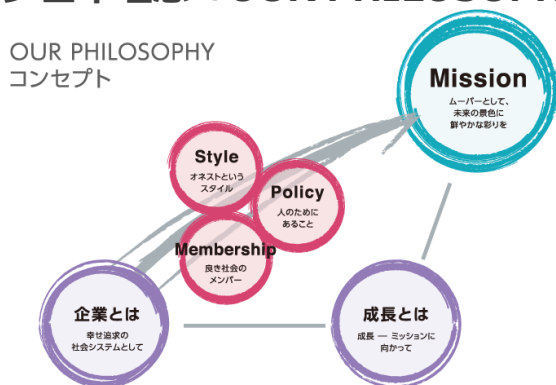
本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

本資料に関するお問い合わせ

T I S株式会社
管理本部 総務部
株主総会事務局
E-mail: kabushiki_soumu@ml.tis.co.jp

- ・新型コロナウイルス感染症拡大を契機として、産業構造の変化や新しい生活様式等、社会全体の在り方が大きく変化。「ニューノーマル」を見据え、デジタルシフトが急速に進展する見込み。
- ・こうした中、社会課題の解決をリードする企業への変革が持続的な企業価値向上には不可欠。

＜グループ基本理念「OUR PHILOSOPHY」＞



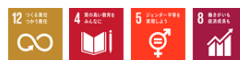
＜Mission＞

ムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りを

＜4つの重点テーマとマテリアリティ（重要課題）＞

1. 多様な人材が生き生きと活躍する社会を

- ・ダイバーシティの推進
- ・働き方改革の推進
- ・自己実現を重視した人財開発・育成



2. イノベーション・共創を通じ、社会に豊かさを

- ・人と社会を支える安全で便利な社会基盤の提供
- ・ステークホルダー間をつなぎ、共創を促進
- ・環境負荷の低減



3. 高品質なサービスを通じ、社会に安全を

- ・継続的な品質向上
- ・情報セキュリティ
- ・個人情報保護



4. コーポレートガバナンスを高め、社会から信頼を

- ・コーポレートガバナンス
- ・コンプライアンス
- ・リスクマネジメント



デジタル技術が今後の社会変革をリードしていく中、
当社グループにとって優先度の高い社会課題と事業領域の特定を推進

グループビジョン2026
「Create Exciting Future」
が目指す理想の実現

✓ 構造転換を実現

✓ 4つの戦略ドメイン拡充

構造転換を強力に進めるうえでの対処すべき課題

構造転換を強力に進めるうえでの対処する課題

デジタル化における価値提供力の強化

グローバル事業の拡大

経営マネジメントの高度化

人材の多様化・高度化

新型コロナウイルス感染症拡大による影響が不確実な環境の中で、
注意を払いつつ、進めていくことが必要

① デジタル化における価値提供力の強化

当社グループの顧客が、デジタル化を進めるパートナーとしての価値提供を強化

世の中の流れ

P	・ キャッシュレスビジョン ・ 金融法改正 ・ Society 5.0
E	・ シェアリングエコノミー ・ サブスクリプション
S	・ 生活のデジタル化 ・ 働き方改革
T	・ スマホ普及 ・ インターネットセキュリティ技術

プレイヤーのニーズ

決済を組み込んだDX

- ・ 提携カード発行事業者
- ・ 新たな企業

DXを実現したいプレイヤー



交通



通信



小売

当社プロセッシングサービス Beyond Payment

デジタル口座

モバイルウォレット

サービス連携

セキュリティ

データ利活用

Society 5.0
ソサエティ

決済に留まらない
新たな領域に挑戦

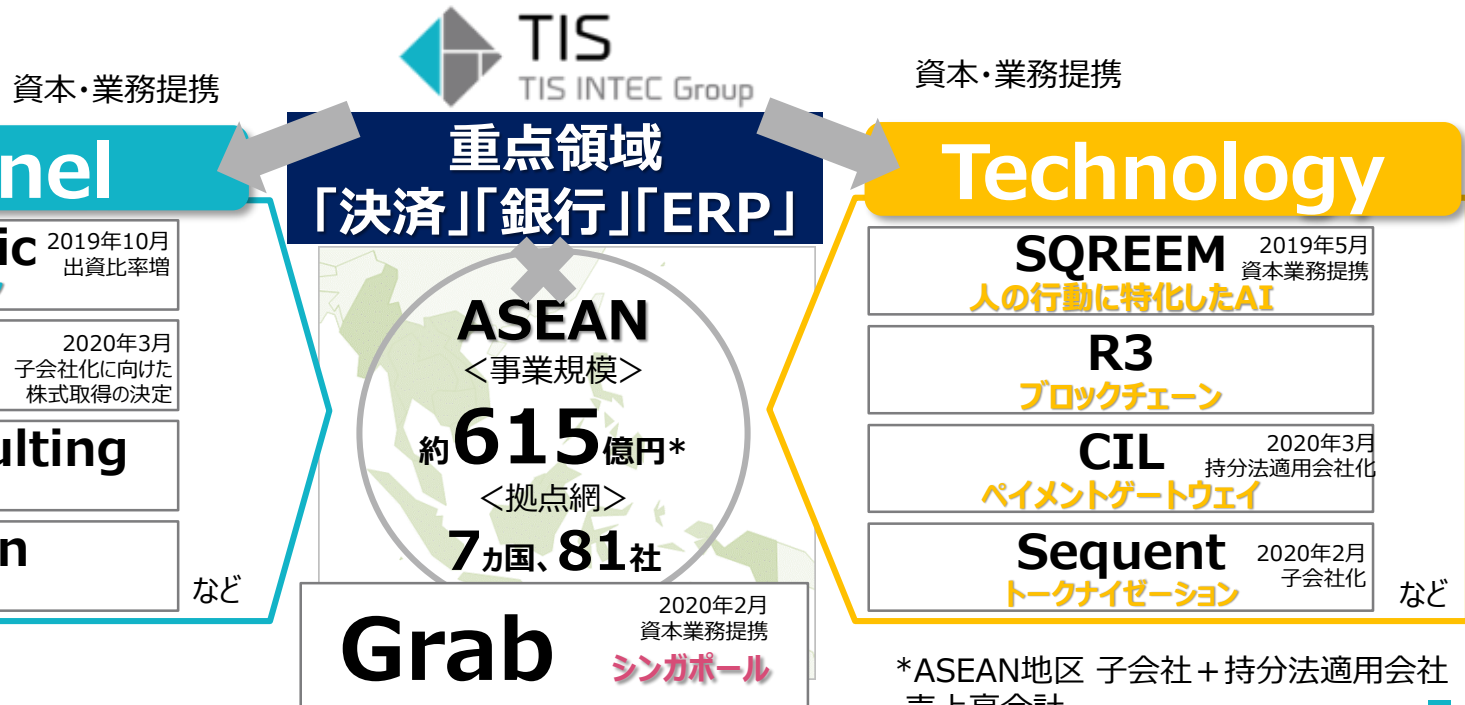
Beyond Payment

Super City

MaaS

②グローバル事業の拡大

ASEANでトップクラスのIT連合体を目指す



③人材の多様化・高度化

多様な人材が活躍できる仕組み・
風土構築を通じて働きがい向上に努める

ダイバーシティ&
インクルージョンの
取組み推進

（人材確保、多様な人材活躍、
健康経営、働き方改革を主軸）

社員と会社の
価値交換性の
継続的な向上

④ 経営マネジメントの高度化

投資マネジメントの高度化

投資効率性の向上

事業マネジメントの強化

事業基盤の安定の向上

E S G マネジメント強化

社会課題の解決に継続的に貢献

グループの業務集約と効率化

グループ経営管理の高度化

2021年度3月期業績予想

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を第2四半期まで見込み、前期比減収減益の計画
- ・収益性重視の経営方針を堅持し、営業利益率は10%を維持

	当期実績	2021年3月期計画	前期比
売上高	4437億17百万円	4400億00百万円	▲37億17百万円 (▲0.8%)
営業利益	448億39百万円	440億00百万円	▲8億39百万円 (▲1.9%)
営業利益率	10.1%	10.0%	▲0.1P —
経常利益	460億70百万円	440億00百万円	▲20億70百万円 (▲4.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	294億11百万円	295億00百万円	+89百万円 (+0.3%)
ROE	12.5%	11.8%	▲0.7P —

2021年3月期業績予想の前提条件

「新型コロナウイルス感染症拡大の影響が第2四半期中から収束に向かい、経済活動が徐々に回復。第3四半期から、当社グループの事業環境が正常化」の仮定で算出。状況によっては、業績予想を変更する可能性あり。

財産および損益の状況

企業集団の財産および損益の状況
当社の財産および損益の状況

「招集ご通知」
39頁から40頁に記載

その他の事項

企業集団の現況に関する事項（重要な子会社の状況他）

会社の株式に関する事項

会社の新株予約権等に関する事項

政策保有株式および政策保有に係る議決権行使の基本方針

会社役員に関する事項

会計監査人の状況

株式会社の支配に関する基本方針

剰余金の配当等の決定に関する方針

「招集ご通知」41頁から52頁に記載

連結貸借対照表 連結損益計算書

「招集ご通知」
53頁から54頁に記載

連結株主資本等変動計算書

「招集ご通知」
55頁に記載

連結注記表

当社ウェブサイトに掲載
(法令および定款第16条の規定に基づく掲載)

「招集ご通知」
56-58頁

貸借対照表・損益計算書 株主資本等変動計算書 「招集ご通知」 56頁から58頁に記載

個別注記表 当社ウェブサイトに掲載 (法令および定款第16条の規定に基づく掲載)

事業報告

連結計算書類

計算書類 など

連結計算書類に関する監査結果報告

剰余金処分の件

「招集ご通知」
3頁

期末配当（普通株式）

当期業績が計画を上回ったことを踏まえ、
当初計画より1株につき**10円**増配し、

1株につき **60円**

（中間配当30円と合わせ、年間配当は1株につき**90円**）

総額 5,047,713,600円

＜効力発生日 2020年6月25日＞

定款一部変更の件

「招集ご通知」
4-6頁

危機管理の観点において、 柔軟性をもって経営遂行・対応ができるよう、定款の一部を変更

- (1) 当社の機関設計を鮮明にするための変更。（変更案第4条）
- (2) 株主総会招集権者の権限順序の明記、および、議長任命対象者の順序の追記。（変更案第15条）
- (3) 業務執行の最高責任者である社長について、取締役および執行役員の中から社長を選定する旨の規定を明記し、これに伴い、役付取締役・役付相談役に関する規定を一部変更。（変更案第24条）
- (4) 執行役員の選任方法および役割を明確化する条文を追加。（変更案第32条）
- (5) その他、上記各変更に伴う条数の変更等所要の変更。

取締役9名選任の件

「招集ご通知」
8-17頁

取締役全員（9名）
本定時株主総会終結の時をもって
任期満了

取締役9名選任
(社外取締役3名含む)
(再任9名)

取締役9名選任の件

「招集ご通知」
8-17頁

再任



安達 雅彦
(あだち まさひこ)

再任



岡本 安史
(おかもと やすし)

再任



柳井 城作
(やない じょうさく)

第3号議案

「招集ご通知」
8-17頁

取締役9名選任の件

再任



北岡 隆之
(きたおか たかゆき)

再任



新海 章
(しんかい あきら)

取締役9名選任の件

再任

独立社外取締役



佐野 鉦一
(さの こういち)

再任

独立社外取締役



土屋 文男
(つちや ふみお)

再任

独立社外取締役



水越 尚子
(みずこし なおこ)

第3号議案

取締役9名選任の件

「招集ご通知」
8-17頁

再任



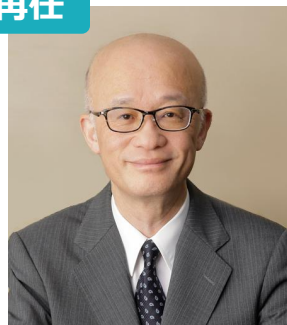
桑野 徹
(くわの とおる)

第3号議案

取締役9名選任の件

「招集ご通知」
8-17頁

再任



桑野 徹

再任



安達 雅彦

再任



岡本 安史

再任



柳井 城作

再任



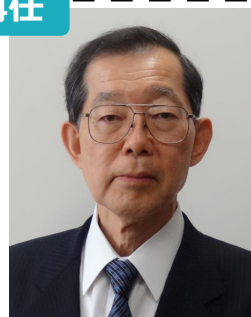
北岡 隆之

再任



新海 章

再任



佐野 鉦一

再任



土屋 文男

再任



水越 尚子

独立社外取締役

監査役5名選任の件

監査役全員（5名）
本定時株主総会終結の時をもって
任期満了

監査役5名選任
(社外監査役3名含む)
(新任3名+再任2名)

第4号議案

監査役5名選任の件

「招集ご通知」
18-23頁

新任



浅野 哲也
(あさの てつや)

再任



松岡 達文
(まつおか たつふみ)

第4号議案

監査役5名選任の件

「招集ご通知」
18-23頁

再任

独立社外監査役



船越 貞平
(ふなこし さだへい)

新任

独立社外監査役



小野 行雄
(おの ゆきお)

新任

独立社外監査役



山川 亜紀子
(やまかわ あきこ)

第4号議案

監査役5名選任の件

「招集ご通知」
18-23頁

新任



浅野 哲也

再任



松岡 達文

再任



船越 貞平

新任



小野 行雄

新任



山川 亜紀子

独立社外監査役

質疑応答

- ご発言・ご質問の際は、挙手願います。
- ご発言の際は、「出席票」の番号とお名前をお願いします。
- ご発言・ご質問は、簡潔に、一問にてお願いします。

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役9名選任の件

第4号議案 監査役5名選任の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役9名選任の件

第4号議案 監査役5名選任の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役9名選任の件

第4号議案 監査役5名選任の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役9名選任の件

第4号議案 監査役5名選任の件

TIS株式会社

第12期 定時株主総会

閉 会



本日はまことにありがとうございました

新任監査役のご紹介



浅野 哲也
(あさの てつや)

新任監査役のご紹介



小野 行雄
(おの ゆきお)



山川 亜紀子
(やまかわ あきこ)



<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

本資料に関するお問い合わせ

T I S株式会社
管理本部 総務部
株主総会事務局
E-mail: kabushiki_soumu@ml.tis.co.jp